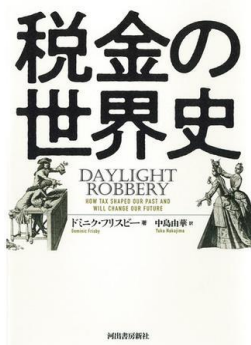




# 12月新着図書案内



上旬版  
富山中部高校図書館



## 税金の世界史

ドミニク・フリスビー 著

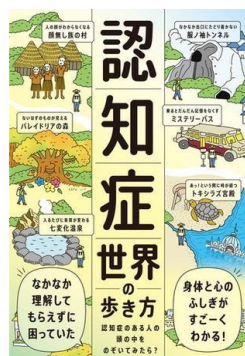
人類がたどってきた道のりを税という観点から浮かびあがらせる。そしてテクノロジーの進歩による著しい社会の変化にいまの税の仕組みが追いついていないことを詳らかにし、これからの税はどうあるべきかを掘り下げる。



## 魚にも自分がわかる 動物認知研究の最先端

幸田 正典 著

脊椎動物の中で最も“アホ”だと思われてきた魚。そんな魚が鏡を見て自分の体について寄生虫を取り除こうとする？ 脳の構造はヒトと同じ？ 「魚の自己意識」に取り組む世界で唯一の研究室が、動物の賢さをめぐる常識を覆す。



## 認知症世界の歩き方

認知症のある人の頭の中をのぞいたみたら？

筧 裕介 著

なかなか理解してもらえずに困っていた「認知症のある方が実際に見ている世界」がスケッチと旅行記の形式で掲載。まるで「ご本人の頭の中を覗いているような感覚」で、認知症のことを楽しみながら学べる一冊。医学・看護・理学療法・介護・福祉方面への進路を考えている人におすすめ。



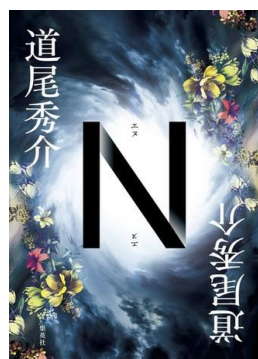
## 火星に住むつもりです ～二酸化炭素が地球を救う～

村木 風海 著

著者は現役の東大生でありながら、化学者、発明家、冒険家、社会起業家でもあります。小学4年生の時に「火星の青い夕陽が見たい」=火星を覆う空気中の95%の二酸化炭素を回収しなくては！と考えたのが研究のきっかけだそうです。

「江戸時代の暮らしに戻らないと地球温暖化は止められない」と悲観する人のために、イラストをたっぷり使い、目から鱗の地球を救う方法をゆるっとふわっとわかりやすく解説。誰もがボタンひとつで二酸化炭素を回収できる世界最小の二酸化炭素直接空気回収装置「ひやっしー」と、二酸化炭素が切り拓く未来を紹介。

## N



道尾 秀介 著

全六章。読む順番で、世界が変わる。あなた自身がつくる720通りの物語。すべての始まりは何だったのか。結末はいったいどこにあるのか。本文が一章おきに上下逆転して印刷されている、すべてが新しい試みに満ちた一冊。

### 図書館からのお知らせ

寒い日が続きます。  
温かい飲み物とともに  
読書で一息  
いれてみては？

